

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



いや～、今年の夏は本当に暑かったですね。まだまだ厳しい残暑の毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？ J-DAVIDデータセンターは、大阪市立大学医学部の医薬品・食品効能評価センター内に場所を移し、新しい雰囲気です活動しております。更なる症例登録をお待ちしております。

世話人からのメッセージ

「ビタミンDとQOLの関係」

大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学
稲葉 雅章先生

個人的な事柄であるが、私とビタミンDの関係は長く深いものがある。先々代の故森井浩世教授から、それまで研究を行っていた甲状腺分野からカルシウム分野、特にビタミンD研究に注力するようにとのご指示が下った1983年頃からの付き合いになる。当初は新規ビタミンD誘導体である26,26,26,27,27,27-hexafluoro-1,25(OH)₂D₃(ファレカルシトリオール)の作用増強機序や、当時、ビタミンDのNew actionとして発見された白血病細胞の分化誘導作用に関する研究を行っていた。その後、森井教授の推薦で活性型ビタミンDの発見者であり、森井教授も過ごされたUniversity of WisconsinのHF DeLuca教授の研究室に2年間留学し研究を行った。当時教室の仲間が、ビタミンDの血管新生作用やオスラットの精子増加作用について研究をおこなっており、「へー、ビタミンDには多彩な作用があるんや！」とびっくりした記憶がある。帰国後数年間にわたってビタミンD研究を

続けたが、その内に日常臨床や臨床研究で日常に追われ、ビタミンDに関する研究を怠ってきた。

教室の庄司哲雄先生が、血液透析患者でビタミンDの生命予後改善について報告され、ビタミンDを愛してきた私にとっては、久しぶりの恋人が立派になって帰ってきたような気持ちであった。血液透析患者で見られたこのビタミンDの生命予後が、一般人やいろんな疾患患者で示され、まさにビタミンDはかつてのDHEAや他の不老長寿の薬の扱いを受けている。ただ、このビタミンDの生命予後改善作用を確固たるものとするためにはJ-DAVID試験のような前向きRCTのデザインを持つ臨床試験が必要となる。日本透析医学会の統計調査委員会データではじめて示された日本発の重要な臨床知見を、日本の臨床データで確定させることができるのは非常に意義深いと考えられる。私のビタミンDに対する気持ちが成就できるようJ-DAVID試験の貫徹を熱く応援するしだいである。



最近の文献から

ビタミンD不足を規定する遺伝子変異: ゲノムワイドな関連研究

Common genetic determinants of vitamin D insufficiency: a genome-wide association study.

Wang TJ, et al. Lancet 376: 180-8, 2010

【ポイント】ヨーロッパの15のコホート研究、合計33996例の解析で、血清25(OH)D濃度に関連する遺伝子をゲノムワイドに検索したところ、コレステロール合成、水酸化、ビタミンD輸送に関連する遺伝子の近傍の変異がビタミンDステータスに関連していた。

【詳しくは】

http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?cmd=Retrieve&db=PubMed&dopt=Citation&list_uids=20541252

最新進捗状

累計登録数のランキング・進捗状況等を報告致します。(8月23日現在)

各地区登録進捗

地区	施設数	累計登録数	今月登録数
北海道	8	79	0
山形	3	6	0
宮城	5	2	0
東京	29	54	0
栃木	2	0	0
茨城・千葉	16	2	0
神奈川	5	12	0
愛知	17	7	0
大阪・兵庫	52	243	10
奈良・和歌山	12	40	2
京都	5	67	0
広島・岡山	6	18	0
島根	8	5	0
徳島	2	5	0
高知	3	14	0
愛媛	1	18	0
福岡・佐賀	11	5	0
沖縄	7	5	1
合計	192	582	13

累計登録数ランキングTOP10

順位	施設名	登録件数
①	井上病院／大阪	55
②	桃仁会病院／京都	47
③	翠悠会診療所／奈良・和歌山	29
④	北彩都病院／北海道	28
⑤	札幌北楡病院／北海道	25
⑤	永山クリニック／大阪	25
⑦	佐藤循環器科内科／愛媛	18
⑧	小野内科／大阪	16
⑨	大野記念病院／大阪	15
⑨	西陣病院／京都	15

8月度登録数ランキングTOP5

順位	施設名	登録件数
①	奥田クリニック／大阪	5
②	小尾クリニック／大阪	3
③	翠悠会診療所／奈良・和歌山	2
④	沖縄第一病院／沖縄	1
④	岡田クリニック／大阪	1
④	中西クリニック／大阪	1

症例報告書回収状況報告

登録	観察開始時	3ヵ月	6ヵ月	12ヵ月	18ヵ月
582	538	393	301	152	51

J-DAVID事務局からお知らせ



症例報告書郵送時のお願い

症例報告書を郵送される際は、お送りしておりますエクスパックをご利用頂き、原本をJ-DAVID事務局へお送り下さい。ご施設では、原本のコピーを保管頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

データセンター移転に伴うFAXの不具合

データセンター移転に伴い、データセンターのFAXを変更致しました。その為、これまでと同じ書類でも濃淡などに違いが出ており、施設によっては返信FAXが真っ黒になって文字が不明瞭になっている場合があります。文字が読み取れないなど不明瞭なものがございましたら、データセンターまでご連絡頂きますよう宜しくお願い申し上げます。



編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分沁病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
J-DAVID試験データセンター
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

ホームページもご覧下さい。
<http://j-david.info/>